

2023年度 大阪公立大学

小論文問題

(工学部 機械工学科)

解答時間 90分

注意事項

1. 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙を含めて全部で2ページである。脱落のあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙(2枚)及び下書き用紙(2枚)は別に配付する。脱落のある場合には申し出ること。
4. 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
6. 解答に字数の制限があるときは、句読点や記号も含めて数えること。
7. 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とするときがある。
8. 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
9. 解答終了後、配付された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

問題（１００点）

以下の「人とロボットの共存する環境 -実現への課題-」と題する記事を読み、小問に答えよ。

著作権の関係により、公表しません。

[出典：長谷川 勉 「人とロボットの共存する環境 -実現への課題-」
計測と制御 第49巻第6号（2010年6月号）337頁-340頁より抜粋および
一部改変。]

問１（解答用紙①に解答せよ。）

あなたが将来必要と考える「人と共存するロボット」の具体例を述べよ。さらにそのロボットを実現するために解決すべき課題を、記事の文中の(1)～(4)のいずれか一つの視点から記述せよ。300字～600字で解答すること。また、記述する視点を解答用紙の所定欄から一つ選んで○印を付すこと。

問２（解答用紙②に解答せよ。）

「問１」で解答した課題を解決するために、大学で修得すべき知識や技術を少なくとも３つ挙げて、それらが必要である理由を述べよ。300字～600字で解答すること。